

横浜川崎国際港湾株式会社の取組方針について

平成28年5月24日

§ 1 取組の基本方針

【コンテナ貨物集貨施策の展開】

集貨

国際基幹航路をはじめとしたあらゆる航路の寄港促進と国内外のコンテナ貨物の集中を図る様々な支援施策や国内外での戦略的なポートセールスなどを積極的に展開するとともに、輸入貨物の取り込みをねらいとしたロジスティックス事業との連携も図っていく

【コンテナターミナルの機能強化】

競争力強化

国際海上輸送の効率化が進む中、超大型船を含む様々なコンテナ船の受け入れが可能となる先進的な高規格コンテナターミナルの整備を推進するとともに、ターミナルオペレーションの効率化に資する施設更新にも取り組む。

また、連続ターミナルの一体的運営の推進など、コンテナターミナルの効率的な運営を推進する。

【施策展開に不可欠な財源の確保】

こうした取り組みを着実に推進していくため、国等からの支援を最大限活用しながら、必要となる財源を確保し、戦略港湾施策を強力に展開していく。

§2 コンテナ貨物集貨支援策の展開

① コンテナ貨物集貨支援メニュー

事業名	対象事業
航路拡充支援事業 (航路開設や船舶大型化等への支援)	<ul style="list-style-type: none">航路の開設や横浜港・川崎港への追加寄港に対する支援船舶の大型化に対する支援既存航路の運航に対する支援
個別提案型支援事業 (貨物集約に対する支援)	<ul style="list-style-type: none">東日本を中心とした国内広域エリアから、横浜港・川崎港への集貨に対する支援国内外の他港から、横浜港・川崎港への利用港転換に対する支援
個別提案型支援事業 (内航航路の新設や鉄道輸送強化等の事業に対する支援)	<ul style="list-style-type: none">横浜港・川崎港への貨物集貨に資する事業に対する支援

② 集貨説明会の実施状況

平成28年4月19日(火) 集貨事業説明会@パシフィコ横浜

平成28年4月27日(水) 集貨事業説明会@TKPガーデンシティ永田町(阪神国際港湾(株)との合同開催)

③ 今後の予定

集貨事業の募集と合わせ、以下の活動を展開していきます。

- 東日本を中心とした国内ポートセールスの展開
- 海外主要船社へのトップセールス
- フォワーダー企業と連携した海外荷主へのポートセールス 等

§3 コンテナターミナルの機能強化

先進的高規格コンテナターミナルの整備と機能更新

大水深高規格CTの整備

コンテナ船の超大型化に対応した大水深岸壁を有する先進的なコンテナターミナルの整備を促進します。

◆南本牧MC-4ターミナルの整備

既存CTの機能更新・改良

荷役機械の高規格化や老朽化に伴うCTの機能更新や改良整備を適切に進めます。

◆本牧D-1ターミナル再整備

コンテナターミナルの効率的な運営

連続ターミナルの一体的運営の促進

関係者と連携し、岸壁や荷役機械の相互融通等について、一層促進していきます。

戦略的かつ柔軟な貸付手法の構築

国庫補助の充実等による、効率的な投資を行うとともに、取扱量等を踏まえた貸付手法の構築を進めます。

利便性向上策の展開

ゲートオープン時間拡大の推進やIT技術の導入による利便性の向上に向けた取組を関係者と連携し、推進していきます。

